

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	山岳博物館 課	山岳博物館	係	事務事業No.	110613
事務事業名	山岳博物館教育普及事業				会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				款	10 項 6 目 1
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供					
施策項目	多様な分野の学習活動の充実と促進					
前期計画掲載頁	42	頁	個別計画	第7期社会教育計画	37	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 博物館法

事業の目的
 自然と人が共生する山岳文化都市の形成に繋げる地域博物館として、地域の恵まれた自然・文化に関するフィールドや博物館資料・情報を分かりやすく興味深く示すとともに、それらを通して新しい発見・驚き・関心が得られるよう展示内容の工夫に努め、新たな発想・創造へ結びつくような活動を推進する。また、北アルプスとその山麓地域の自然や文化に関する調査研究を基礎とし、それに関わる資料の収集・整理、保存・管理をするとともに、これらを活用した教育普及事業を推進する。

事業内容
 平成29年度は、企画展「大町登山案内人組合100年の歩み」「北アルプス国際芸術祭パートナーシップ事業【山と芸術】」開催、「付属園まつり」「さんばくこども夏期だいがく」等の開催、山博友の会との共催による「春・冬のバードウォッチング」等の開催、学校との連携・融合による授業や課外活動の実施、収蔵資料の貸し出し、「山と博物館」の毎月発行、各種観察会や各集会の共催・協力を行い、問い合わせに対するレファランズ活動を行った。

事業費	財源内訳	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		総事業費（決算額）	4,917,831 円	5,918,227 円	4,196,348 円
		国庫支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	137,950 円	685,300 円	161,450 円
	一般財源	4,779,881 円	5,232,927 円	4,034,898 円	

活動指標	指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）
				実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	企画展・特別展	回	3	2	2	2	100.0%	1
	②	学習会・観察会	回	18	22	53	25	212.0%	50
③	学校との連携・融合	回	30	40	53	45	117.8%	50	

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	企画展・特別展見学者	人	11,273	10,809	13,052	11,000	118.7%	11,000
	②	学習会・観察会参加者	人	1,199	632	1,049	1,000	104.9%	1,000
	③	学校との連携・融合	人	733	1,050	1,731	1,100	157.4%	1,100
	2. 数値で表せない効果		(指標)						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である			
点数	3	3	3	3	2	3				

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）

入館者が伸び悩んでいる状況にある中、山岳博物館に足を運んでいただける様な新たな魅力ある事業展開を検討する必要がある。様々な学習会・観察会の開催や学校との連携・融合等、事業の充実を図りたいが、現状として業務量が大きくなると学芸員等の負担が増大し他業務を圧迫することとなる。山岳博物館事業全体の大胆なスクラップ＆ビルドの検討が必要である。

改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）

新たな発想や創造へと結びつくよう企画展や特別展のあり方、教育普及活動の内容や手法等を工夫しながら、前例踏襲に陥らないよう事業を展開していく。学校と博物館を結んだ事業を積極的におこない、児童・生徒（先生）の学習の場とし、関心を持つきっかけづくりをするため、業務量を図りながら可能なかぎり学社連携事業の充実を図る。友の会や市民との協働による事業を更に進め、市民にとって身近な博物館と思えるよう意識の高揚を図る。